

平成29年度 事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

事業の状況

社会の繁栄の基礎は、科学技術の進歩と産業経済の発展にあるとの考えに基づき、わが国の優れた独創的な研究開発を推進し、科学技術の発展と国民生活の向上に貢献したいという当財団設立提唱者市村氏の想いを実現するため、平成29年度も関係各方面の方々のご支援とご協力により以下の事業活動を積極的に展開し所期の成果を収めました。

また、平成30年度に当財団は創立50周年を迎えることから、創設者の思いを再確認し、未来に向けて新たな一步を踏み出すため、財団名称を平成30年4月1日に「市村清新技术財団」に改称しました。

1. 科学技術の研究開発助成

科学技術に関する独創的な技術を実用化するために技術開発の努力をしている中小企業へ助成する事業です。平成29年度は1次、2次あわせて219件の応募がありました。2次の144件は史上最高の応募数でした。これらに対して調査選考を行い、審査委員会の推薦に基づき27件（総額422,610千円）の助成を決定し、平成29年8月2日及び平成30年2月13日に、財団本部において助成金を贈呈しました。

2. 新技術顕彰(市村産業賞、学術賞の贈呈)

(1) 市村賞の贈呈

平成29年度第50回の市村賞は、産業賞21件、学術賞40件の応募があり、選考の結果、市村産業賞（功績賞3件、貢献賞4件）と市村学術賞（功績賞2件、貢献賞5件）合わせて14件（賞金52,000千円）の受賞が決定しました。第50回市村賞贈呈式は平成30年4月16日に、帝国ホテル東京孔雀の間にて行い、桜井会長より、表彰状、賞品を贈呈しました。贈呈式当日は、財団創立50周年記念式典も併せて行われました。

(2) 国際技術交流：国際研究集会参加助成及び国際研究集会開催助成

市村学術賞受賞者が国際会議、国際研究集会に出席する場合の渡航旅費の助成について、5件の申請がありました。

国際研究集会開催助成には、2件の申請がありました。

(3) 講演会の開催

市村産業賞受賞記念講演会を、平成29年7月14日に、RTC(リコテクノロジーセンター)にて開催しました。貢献賞を受賞された三菱電機(株)による「電動パワーステアリングの性能・機能向上による普及率拡大」の講演に、100名余りの方が熱心に聴き入り、終了後も活発な質疑が行われました。

先端技術講演会を平成29年9月5日に(株)リコー中央研究所にて開催しました。学術賞・功績賞を受賞された京都大学藤原幸一助教による「心拍変動解析と機械学習を用いたてんかんアラーム ～スモールデータ解析でAIに勝つ～」の講演に約90名の方々が参加されました。

3. 少年少女創造性育成

(1) 第48回市村アイデア賞

第48回市村アイデア賞は、関係者の協力を得ながら各地に出向いて募集活動を行ってきました。その結果7月1日から9月11日までの募集期間に、32,413件の応募がありました。応募数は毎年増加していましたが、今回初めて3万件を超えました。

審査委員会の推薦に基づき、その中から個人賞として文部科学大臣賞1件、市村アイデア優秀賞1件、審査委員長特別賞1件、朝日小学生新聞賞1件、朝日中高生新聞賞1件、科学技術館館長賞1件、市村アイデア記念賞6件、市村アイデア奨励賞25件、佳作50件、努力賞77件を、団体賞として最優秀団体賞1件、優秀団体賞2件、奨励団体賞3件、努力団体賞4件を決定しました。

平成29年11月18日に北の丸の「科学技術館」に於いて表彰式を実施し、賞状、トロフィー、奨学金を贈呈しました。また、佳作に対し楯、努力賞に対し賞状を贈呈し表彰しました。なお、個人賞の奨学金と団体賞の賞金の合計は3,730千円でした。

(2) キッズ・フロンティア・ワークショップ

小・中学生を対象に科学技術に関する講話や実験・製作などをおして、科学の原理を楽しみながら理解し、科学技術への興味、意欲を高めることをねらいに(公財)日本科学技術振興財団との共催、文部科学省、朝日新聞社、朝日学生新聞社の後援、(株)リコーの特別協賛で「かがく・夢・あそび」をスローガンにワークショップを実施しました。

平成29年度は、半日コースを平成29年11月17日市村アイデア賞の表彰式後に北の丸の「科学技術館」で実施し、受賞者の小・中学生を含む保護者・引率の先生など合わせて約150名が参加しました。冬休み1日コースは平成29年12月9日、10日に「くまもと県民交流館パレア」(熊本県教育委員会、(株)リコー、リコージャパン(株)熊本支社の特別協賛を得て)で小・中学生48名、保護者26名が参加し実施しました。また春休み1日コースは平成30年3月1

0日、11日北の丸の「科学技術館」で行い小・中学生55名、保護者33名が参加しました。

4. 植物研究助成

第26回の植物研究助成は、平成29年5月12日熱海の植物研究園において研究者23名に総額33,390千円を贈呈しました。また贈呈式後、古在先生(植物審査委員長)の講演を行いました。

平成29年度に募集、審査を行った平成30年度第27回植物助成には、49件の応募があり、22件、助成総額32,740千円の助成が決定しました。

5. 植物研究園の一般公開

春の一般公開を平成29年4月11日～23日の13日間行いました。期間中の来場者は493名でした。紅葉に合わせて秋の一般公開を平成29年11月23日～29日の7日間行いました。期間中の来場者は426名でした。

以上